



YOMITIME - WWW.YOMITIME.COM - info@yomitime.com

01/29/2016 | 4



(left) Hiroki Tsukuda, 4466 Void, 2015 (right) 「佃弘樹」展、展示風景
Courtesy of the artist and Petzel, New York



ニューヨーク初個展 メディアの反響上々！

佃 弘樹 @ Petzel Gallery 加藤 泉 @ Galerie Perrotin

新春を迎え、画廊街は活気に満ちている。日本人作家の活躍が目立つ中、中でも、ニューヨーク初個展となった佃弘樹（つくだ・ひろき）と加藤泉（かとう・いずみ）の登場は、作品それぞれが、作品そのものの強さばかりか、アーティストのキャリア展開を考えると興味深い。

まず、チルシーのツェル画廊の広大なスペースを埋めた佃のデビュー展。大型のモノクロ絵画が、渋谷に画廊が広がる。一見、写真やメタリクなパネル画にも見えるが、紙にインクとチルで描かれたもの。そのイメージは、緻密にして複雑な工場の内部や巨大な船の断面、あるいは宇宙へと旅立つスペースシャトルの近未来の世界だが、何よりも、画面が黒一色であることに驚かされる。豊かなイメージの作られた建築図面や既存の写真、自ら撮りためた地味なイメージや、図形や文字などあらゆるものが錯綜する画面は、PC上でコラージュしたもの。一方、廃材や石柱、観葉植物で構築されたインスタレーションは、白のコーラージュ絵画を3Dに解体して、逆のプロセスから生まれた作品だといふ。

佃は、1978年香川県生まれ。2001年に武蔵野美術大学の映像科を出たのち、グラフィック・アーティストとして活躍。ストリートとして活躍後、より自由な制作環境を求めてアーティストに転身。同じく、渋谷に画廊が広がる。一見、写真やメタリクなパネル画にも見えるが、紙にインクとチルで描かれたもの。そのイメージは、緻密にして複雑な工場の内部や巨大な船の断面、あるいは宇宙へと旅立つスペースシャトルの近未来の世界だが、何よりも、画面が黒一色であることに驚かされる。豊かなイメージの作られた建築図面や既存の写真、自ら撮りためた地味なイメージや、図形や文字などあらゆるものが錯綜する画面は、PC上でコラージュしたもの。一方、廃材や石柱、観葉植物で構築されたインスタレーションは、白のコーラージュ絵画を3Dに解体して、逆のプロセスから生まれた作品だといふ。

「昔は絵を作ってたが、海外を巡るたびに画廊や美術館の展覧会を見て歩きまわった。美術家の空間の使い方が、ちやくちや巧い。絵はたくさん並べると、引き算がいくつあるか、佃の言葉には、実感がある。

アップタウンのマジンソン・ペロタン画廊で開催中の加藤の個展もまた、大小の絵画と彫刻、その組み合わせを生かした空間の使い方が見事だ。が、特筆すべきは、筆さすきは、絵画そのものの個性、胎児や子供を思わせる加藤の人物像は、実際に色は塗りや重なり、独特のシブな色、色と形が強い。

「昔は絵を作ってたが、海外を巡るたびに画廊や美術館の展覧会を見て歩きまわった。美術家の空間の使い方が、ちやくちや巧い。絵はたくさん並べると、引き算がいくつあるか、佃の言葉には、実感がある。

「昔は絵を作ってたが、海外を巡るたびに画廊や美術館の展覧会を見て歩きまわった。美術家の空間の使い方が、ちやくちや巧い。絵はたくさん並べると、引き算がいくつあるか、佃の言葉には、実感がある。

「昔は絵を作ってたが、海外を巡るたびに画廊や美術館の展覧会を見て歩きまわった。美術家の空間の使い方が、ちやくちや巧い。絵はたくさん並べると、引き算がいくつあるか、佃の言葉には、実感がある。

「昔は絵を作ってたが、海外を巡るたびに画廊や美術館の展覧会を見て歩きまわった。美術家の空間の使い方が、ちやくちや巧い。絵はたくさん並べると、引き算がいくつあるか、佃の言葉には、実感がある。

「昔は絵を作ってたが、海外を巡るたびに画廊や美術館の展覧会を見て歩きまわった。美術家の空間の使い方が、ちやくちや巧い。絵はたくさん並べると、引き算がいくつあるか、佃の言葉には、実感がある。

「昔は絵を作ってたが、海外を巡るたびに画廊や美術館の展覧会を見て歩きまわった。美術家の空間の使い方が、ちやくちや巧い。絵はたくさん並べると、引き算がいくつあるか、佃の言葉には、実感がある。

「昔は絵を作ってたが、海外を巡るたびに画廊や美術館の展覧会を見て歩きまわった。美術家の空間の使い方が、ちやくちや巧い。絵はたくさん並べると、引き算がいくつあるか、佃の言葉には、実感がある。

「昔は絵を作ってたが、海外を巡るたびに画廊や美術館の展覧会を見て歩きまわった。美術家の空間の使い方が、ちやくちや巧い。絵はたくさん並べると、引き算がいくつあるか、佃の言葉には、実感がある。

「昔は絵を作ってたが、海外を巡るたびに画廊や美術館の展覧会を見て歩きまわった。美術家の空間の使い方が、ちやくちや巧い。絵はたくさん並べると、引き算がいくつあるか、佃の言葉には、実感がある。

「昔は絵を作ってたが、海外を巡るたびに画廊や美術館の展覧会を見て歩きまわった。美術家の空間の使い方が、ちやくちや巧い。絵はたくさん並べると、引き算がいくつあるか、佃の言葉には、実感がある。

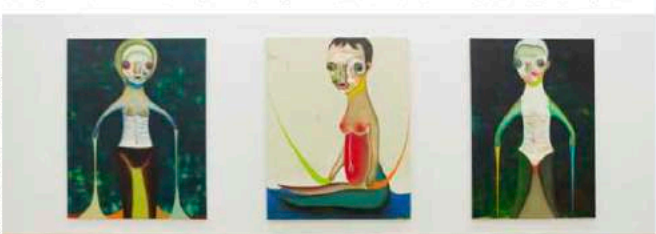
「昔は絵を作ってたが、海外を巡るたびに画廊や美術館の展覧会を見て歩きまわった。美術家の空間の使い方が、ちやくちや巧い。絵はたくさん並べると、引き算がいくつあるか、佃の言葉には、実感がある。

「昔は絵を作ってたが、海外を巡るたびに画廊や美術館の展覧会を見て歩きまわった。美術家の空間の使い方が、ちやくちや巧い。絵はたくさん並べると、引き算がいくつあるか、佃の言葉には、実感がある。

「昔は絵を作ってたが、海外を巡るたびに画廊や美術館の展覧会を見て歩きまわった。美術家の空間の使い方が、ちやくちや巧い。絵はたくさん並べると、引き算がいくつあるか、佃の言葉には、実感がある。

「昔は絵を作ってたが、海外を巡るたびに画廊や美術館の展覧会を見て歩きまわった。美術家の空間の使い方が、ちやくちや巧い。絵はたくさん並べると、引き算がいくつあるか、佃の言葉には、実感がある。

「昔は絵を作ってたが、海外を巡るたびに画廊や美術館の展覧会を見て歩きまわった。美術家の空間の使い方が、ちやくちや巧い。絵はたくさん並べると、引き算がいくつあるか、佃の言葉には、実感がある。



「加藤泉」展から絵画3点。いずれも「アンタイトルド」(2015) Photo by Guillaume Ziccarelli, Courtesy Galerie Perrotin

Hiroki Tsukuda:
Enter the O
2月20日(土)まで
会場: Petzel Gallery
456 W. 18th St.
入場無料
www.petzel.com

Izumi Kato
2月27日(土)まで
会場: Galerie Perrotin
909 Madison Ave.
入場無料
www.perrotin.com